

大分県宇佐市にコンテナホテル「HOTEL R9 The Yard 宇佐」が 2024年10月29日(火)に開業!

～10月21日(月)に宇佐市、報道関係者向けのオープン前施設見学会を開催～

株式会社デベロップ(本社:千葉県市川市、代表取締役:岡村 健史、以下「デベロップ」)は、大分県宇佐市にコンテナホテル「HOTEL R9 The Yard 宇佐」を2024年10月29日(火)に開業します。当ホテルの開業により「ホテル アールナイン ザ ヤード」シリーズは91店舗、「R9 HOTELS GROUP」としては102店舗となります。また、開業に先立ち、2024年10月21日(月)に「HOTEL R9 The Yard 宇佐」にて宇佐市、報道関係者向けのオープン前施設見学会を開催します。



HOTEL R9 The Yard 宇佐 外観

【HOTEL R9 The Yard 宇佐 施設情報】

施設名:	HOTEL R9 The Yard 宇佐 (ホテル アールナイン ザ ヤード ウサ)		
施設場所:	大分県宇佐市大字下拝田698-1		
オープン日:	2024年10月29日(火)		
予約受付開始日:	2024年10月22日(火) 15:00		
アクセス:	【お車】東九州自動車道「宇佐IC」より車で約3分、「院内IC」より車で約6分 【電車】JR日豊本線「豊前善光寺駅」よりタクシーで約12分、「柳ヶ浦駅」よりタクシーで約13分		
駐車場:	普通車/軽自動車41台(無料)		
敷地面積:	2,927㎡(885坪)		
客室数:	40室		
客室構成:	ダブルルーム35室/ツインルーム5室		
<ダブルルーム>	定員:2名 広さ:13㎡	1名 6,200円/泊～	2名 8,700円/泊～
<ツインルーム>	定員:2名 広さ:13㎡	1名 6,200円/泊～	2名 9,700円/泊～
ホームページ:	https://hotel-r9.jp/hotels/usa/		

【オープン前施設見学会について】

日時:	2024年10月21日(月) 11時00分～11時30分
場所:	HOTEL R9 The Yard 宇佐(宇佐市大字下拝田698番地1)
施設見学対象者:	報道関係者
出席者:	是永修治 宇佐市長、株式会社デベロップ 上席執行役員 山岸 栄作、他
申込方法:	事前申込制(電話 047-712-5112)

【ホテル概要】

中津市に続き、大分県で2店舗目の出店となる「HOTEL R9 The Yard 宇佐」は、東九州自動車道「宇佐IC」より車で約3分、「まほろば菟狭物産館」付近の県道625号沿いに所在します。ホテル周辺には工場が点在し、車で3分ほどの距離には下拝田工業団地があるため、出張などビジネスの宿泊拠点に最適です。また、「宇佐神宮」や「アフリカンサファリ」、温泉施設といった宇佐市で人気の観光スポットへのアクセスも良好です。豊後高田市や別府市など隣市からもお車にて30分ほどでお越しいただけるため、大分県内の観光の宿泊拠点としてもご活用いただけます。

当ホテルシリーズは「レスキューホテル」として有事の際には避難所等の役割を担います。宇佐市とは2024年2月19日(月)に災害協定を締結しており、引き続き同市と当ホテル間で連携を図り、地域活性化に努めてまいります。

●シリーズ初！サテライトオフィス併設ホテル！●

当ホテルは、HOTEL R9 The Yard シリーズとして初のサテライトオフィスを併設したホテルになります。フロント棟の横に配置した全2室のサテライトオフィスは、ご宿泊者のみならず、地域の法人様のミーティングや研修など、様々なビジネスシーンでご利用いただけます。当施設が、ビジネス交流の場としての役割を担うことで、地域の賑わい創出につながることを目指します。

【災害時には避難所等になるフェーズフリーのホテルで備えない防災を】

デベロップが運営する「HOTEL R9 The Yard(ホテル アールナイン ザ ヤード)」シリーズは、斬新な外観と上質な空間を持ち合わせたコンテナホテルです。建築用コンテナモジュールを利用した独立客室は、隣室と壁を接しないため静粛性とプライバシー性に優れます。13㎡の室内には、良質なベッド、ゆったり使用できるユニットバス、冷凍冷蔵庫、電子レンジ、加湿空気清浄機を備えており、シンプルながら高い快適性を実現。多くのお客様の好評を得て、全国91店舗3,290室(開業準備中店舗含む)を展開しています。また、有事の際には客室をすみやかに被災地へ移設し避難施設等にご利用いただく「レスキューホテル」としての役割を担うことで、災害に強い社会をつくり、未来の命や暮らしを守ることを目指します。尚「動くホテル」「レスキューホテル」との語および、それらの関連標章※は、各々、末尾のとおり、商標登録をしております。

ホテル アールナイン ザ ヤード シリーズ ブランドページ: <https://hotel-r9.jp/brands/theyard/>

レスキューホテル ウェブサイト: https://www.dvlp.jp/lp/rescue_hotel

【東日本大震災の経験をもとに実現。レスキューホテル誕生の経緯】

2011年の東日本大震災では、コンテナ型備蓄倉庫や復興従事者用宿泊施設の建設などで震災後間もなく現地に入りました。被災地の方が多くの避難所で生活に大きな負担を強いられている状況を目の当たりにし、発災後に安心安全なプライベート空間を迅速かつ簡便に提供したいという想いで誕生したものがレスキューホテルです。

動くホテルの1例目として、宮城県石巻市で復興従事者用宿泊施設として利用されたコンテナを栃木県佐野市に移設し2017年10月「HOTEL R9 SANOFUJIOKA」としてリニューアルオープン。その後、更なる移設性を高めるべく1台1客室型に改良、2018年12月「HOTEL R9 The Yard(ホテル アールナイン ザ ヤード)」シリーズ1号店が栃木県真岡市にオープンしたことを皮切りに本シリーズを全国各地へ展開。全国どこへでもすみやかにレスキューホテルが駆けつける体制づくりを目指します。

【レスキューホテル出動実績】

2020年4月に長崎クルーズ船内における新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてレスキューホテル初の有事出動を行いました。その後、東京都三鷹市および東京都千代田区、都内民間病院へPCR検査体制強化のために出動。空調を完備した客室は、季節や天候等に関係なく診療活動を行うことができ、医療従事者の負担軽減のために利用されました。

2021年12月に栃木県へ新型コロナウイルス第6波およびオミクロン株の感染拡大対応のために臨時医療施設として126室を出動。さらに2月より、千葉県と東京都の臨時医療施設の付帯施設として計21室が利用されました。レスキューホテルは、1台1客室の独立した客室構造により、宿泊施設としてだけでなく診察室やナースステーション等にも活用可能なことから、自治体や民間の病院の有事インフラとして地域医療に貢献する機会が増えています。

■レスキューホテルは「日常時」と「非常時」のどちらにおいても役に立つ商品として「フェーズフリー認証」を取得しています。

■災害時の備えを全国へ展開し、強靱なまちづくりに貢献～SDGsの取り組み～

レスキューホテルは、「SDGs事業認定」を取得しています。災害時の備えとして自治体との協定締結の輪を広げ、各自治体のBCP(事業継続計画)に寄与し、持続可能な開発目標の達成に貢献します。

【運営会社】

会社名: 株式会社デベロップ
代表者: 代表取締役 岡村健史
所在地: 千葉県市川市市川一丁目4番10号
設立: 2007年2月
事業内容: 建築・不動産事業、エネルギー事業、ホテル事業、施設管理事業、資産運用代行事業
ホームページ: <https://develop-group.jp>

PHASE
FREE

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



※「レスキューホテル The Yard(商標 第6240114号)」、「災害支援型レスキューホテル(商標 第6394774号)」、「医療従事者支援型レスキューホテル(商標 第6394775号)」その他「レスキューホテル」の語を用いた商標、並びに「動くホテル The Yard(商標 第6240108号)」その他「動くホテル」を用いた商標は、デベロップの登録商標です。

【本リリースに関するお問い合わせ】 株式会社デベロップ 広報担当 麻生川(あそがわ) Tel:080-7006-9270 (直通) /047-712-5112 Email: pr@dvp.jp